

清明学院サッカー部 新聞

令和2年8月17日 NO.6



頑張ることが出来ることも才能！！

私が高校時代に、体育祭の目標を立てようという企画で、色々な案をクラスで考えました。その時に決まった言葉は『感動ある体育祭』に決定！それを当時の担任に提出したところ、すぐに却下！！理由は、体育祭を取り組んだ結果で感動が生まれるだけで、感動を目的に体育祭はやらん！！とのこと。最近、『楽しいサッカー』などということが、メディアなどで多く言われています。解釈の違いで『たのしいサッカー？』どんなサッカーですか。それって走らない、結果はどうでもいい楽（らく）なサッカーと間違っていないか？と思うことがあります。一生懸命に頑張った練習や試合、いままでの生活を変えてまでやったことに充実感や達成感、「あの時は怒られたな」「みんなで苦しいことを乗り越えたな」という思い出話が結局楽しさにつながっているのではないのでしょうか？ということ、一生懸命にやらなければ楽しさは生まれない。今、苦しいことがあっても、どんなことがあっても、突っ走る時です。後ろを見ず、頑張ることが、一番大切なことと思います。SNSなどの情報が豊かになり、なんでも情報を取り入れることが出来る時代ですが、よそ見をせず頑張ることが、結果『楽しいサッカー』『思い出に残る高校生活』に変わるはず。結果は今わかりません。私も高校の先生が言ってくれた助言が、その時にはわかりませんでした。清明学院サッカー部諸君頑張れ！！

U-18 サッカーリーグ 大阪朝鮮戦



清明学院 4 対 4 大阪朝鮮

得点者：森水 2 森村

早い時間帯での児玉（GK）が負傷退場し、フィールドプレイヤーの村岸が GK を急遽代行苦しい試合を乗り越え、収穫のある試合が出来た。

問題点

- ①ゲームの落ち着かない時間帯をどう乗り切るか。
- ②ノーギャップでプレーすることが多くなり、自分たちを見失う
- ③攻守の切り替え（攻撃→守備 守備→攻撃 共に）の遅さ

自分たちの今までやってきたことは何か？公式戦ということもあってミスをしたら、いけないという気持ちはよく分かるが、その場しのぎをして、ゲームをするのではなく、今までやってきたことの判断スピードを上げることがしよう。

大会まであと少し 自分自身の課題をもって自主練習をしよう！！



<登竜門>

清明学院 1 VS 3 京都共栄

得点者：河辺



<U-18 サッカーリーグ>

清明学院 1 VS 0 りんくう翔南高校

得点者：高野

清明学院 2 VS 4 泉陽高校

得点者：松本 山本壮



<U-18 サッカーリーグ 3部>

清明学院 2 VS 1 阿武野高校

得点者：ユミン 藤森

簡単なミスからの失点。問題点は色々あるが、こういうゲームを逆転勝ち出来たのはよかった。

1年/2年生へ

6月15日から制限付きのクラブ活動が始まってから、約3か月 徐々にですが、身体も元に戻ってきて様です。この3か月の先生の感想を、話したいと思います。チーム全体が、得意なことを取り組む姿勢と不得意なことを取り組む姿勢の違いが大きいことです。サッカーは野球とかのスポーツと違って、代打などのこれだけやってほしいというポジションはありません。サッカーの難しいところは、短距離も必要！長距離 中距離も大切。ドリブルもトラップも・・・好きなこともサッカー嫌なこともサッカーすべて必要になります。ストロングポイントがあることは大切です、もっともっとストロングポイントが伸びてきてほしいですが、苦手なことの克服も大切です。苦手なことを積極的になれる選手になってください。